

あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター
「関☆はもみん」



10月1日～15 日にあった
市内の話題を中心に
ご紹介します。

秋のスイーツ作ったよ

富野保育園の年長児が10月10日、上大野の民家で恒例の栗拾いと栗きんとん作りを体験しました。園児たちは、栗の拾い方を教わり、地面に落ちている「いが栗」を見つけると、足を使って器用にむいていました。続いて、ゆでた栗を砕き砂糖を加えて混ぜ、下ごしらえした栗を布に乗せて、上手に丸めて包み形を整え、栗きんとんを完成させました。抹茶とともにおいしくいただき、満足そうに秋の素朴な自然にふれあっていました。



スポーツで心身リフレッシュ

ぎふ清流国体開催期間中の10月8日、「体育の日」恒例のスペシャルイベントで、総合体育館や温水プールが無料開放され、市民らがさまざまなスポーツで汗を流しました。バドミントン、卓球など本格的なラリーを競い合ったり、カローリングなどの軽スポーツを家族や友達と一緒に楽しんだりしました。参加者同士がコミュニケーションを取りながら体を動かし、心身ともにリフレッシュしました。



公共施設更新問題を考える

近い将来、次々と更新時期を迎える市の公共施設に対し、今後円滑な市政運営をしていくため、施設の規模やサービスの見直しなどを考える「公共施設更新問題研修会」が10月10日に開かれ、市職員らが聴講しました。先進自治体である神奈川県秦野市から講師を迎え、この問題がどうして起こるのか、今後の方針などについて講演。市は、状況をいち早く公表し、市民と共に危機感を持って課題解決に取り組めます。



コスモスとヒマワリの競演

東田原の国道248号沿いの休耕田で10月上旬、コスモスとヒマワリが満開を迎えました。ピンクと黄色の鮮やかな花が一面に咲き乱れ、地域住民や市内外からの見物客の心を癒しました。国の助成を受けて、地域住民らでつくる東田原地域保全管理組合が栽培し、今年で5年目。コスモス、ヒマワリ合わせて3ヘクタールに20万本ほどが咲き、来場者はうっとり眺めてその美しさに魅了されていました。



関市のためにありがとう

10月15日、今年で62回目となる市制記念日に市政功労者の功績をたたえ、表彰式が行われました。地方自治や産業、社会福祉、保健衛生、教育文化などで功績のあった15人の方が尾関市長から表彰を受けました。また、多大な寄付などで4団体・企業に感謝状が手渡されました。この日の午後からは教育功労者の表彰式があり、16人の方と1団体に教育委員長から賞状が手渡されました。



茶道から学ぶ日本のマナー

旭ヶ丘中学校で10月9～10日、1年生生徒を対象に「茶道から学ぶ日本のマナー」講座が開かれ、日本の伝統である茶道体験を通しておもてなしの心などを学習しました。市内在住の茶道・裏千家師範代である井川秀子さんを講師に迎え、マナー指導。校舎4階の和室を使用して、正座やお辞儀などの仕方とお点前の方法を学びました。体験を終えた生徒からは「正しい作法が身についた」などの声が聞かれました。



青空の下「刀都」にぎわう

秋の恒例イベント「第45回刃物まつり」が10月13・14日の両日に開かれました。各会場には県内外から多くの観光客が来訪。刃物大廉売市やアウトドア・ナイフショーのほか、刀匠らによる古式日本刀鍛錬や刀剣研磨外装技術、居合道、ご当地グルメなどを楽しみました。廉売市には45業者が集い、多彩な刃物製品を提供。包丁やはさみ、農機具などを10点以上購入した方もいて、まつりを満喫していました。

こぼれ話

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・皆さんの「秋」はどれでしょうか？もちろん一つではなく、いろいろな「秋」をお持ちの方もいらっしゃると思います。

スポーツといえば！なんとといっても今年は「ぎふ清流国体・清流大会」で盛り上がりましたね。市民の皆さんにとっても、大変思い出に残る大会になったのではないのでしょうか。私も取材のために各会場にお邪魔すると、たくさんのボランティアの皆さんがいらっしゃいました。仕事をはじめ、地元やPTAなどでお世話になっている方々に、あちらこちらでお会いし、皆さんとのつながりを改めて実感することができました。

読書といえば、他人が1日、2日で読んでしまうだろうと思う本を、1カ月くらいかけて読んでいますが、なかなか習慣にはなりませんね(´_`)そして、秋の味覚。我が家では「栗」ですね。子どもたちも大好きです。

いろいろな「秋」を満喫しましょう！市内ではいろいろな秋のイベントが開催されます。まずは広報せき10月15日号の6、8ページを！！

